



これからの子育て支援はどう変わるのでしょうか

～厚生労働省の出産・子育て応援交付金の話～



「伴走型相談支援」「0歳から2歳を手厚く支援」は当方としては、とてもうれしい方向です。今後2024年度に向けて、佐世保市でも行政の検討を経て、どう子育て支援が変わるのか、楽しみです。当法人では自主事業の「産前産後の家事サポート」を実践してみて、支援の必要性は妊娠期からあるし、暮らしを支える大切さも実感しています。

親になるみなさんの多様な暮らし方を尊重しつつ、妊娠期から出産、そして子どもを中心に据えた子育ての暮らしの支援にはプランと合意が必要で、介護保険制度という所の「ケアマネ機能」が必要だと思っています。

「ちいきのなかま」は伴走型支援の第一歩として暮らしに寄り添うための家事サポートに取り組むことを選択しました。もう一歩進めるとすれば、地域の社会資源と有機的なつながりを作ること…相互に顔が見える信頼関係を築けたらと思います。さらに課題解決する専門職と市民の協働、相応の予算立てがこの仕組みの成功のカギだと思っています。期待を持って見守ります。（下の図は厚生労働省のHPで公開されています）

新規

出産・子育て応援交付金

別添1

1. 事業の目的

令和4年度第2次補正予算案：1,267億円

- 核家族化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、孤立感や不安感を抱く妊婦・子育て家庭も少なくない。全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備が喫緊の課題である。
- こうした中で、地方自治体の創意工夫により、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実し、経済的支援を一体として実施する事業を支援する交付金を創設する。

2. 事業の内容

- 市町村が創意工夫を凝らしながら、妊娠届出時より妊婦や特に0歳から2歳の低年齢期の子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を行うことを通じて必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠届出や出産届出を行った妊婦等に対し、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援(計10万円相当)を一体として実施する事業を支援する。

妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援のイメージ

※ 継続的に実施

妊娠期
(妊娠8～10週前後)

妊娠期
(妊娠32～34週前後)

出産・産後

産後の育児期

面談
(+1)

面談
(+2)

面談
(+3)

随時の子育て関連イベント等の情報発信・相談受付対応の継続実施(+4)

【実施主体】子育て世代包括支援センター(市町村)
(NPO等の民間法人が実施する地域子育て支援拠点等への委託を推奨)

伴走型相談支援

(※2～4) SNS・アプリを活用したオンラインでの面談・相談、プッシュ型の情報発信、随時相談の実施を推奨

- (※1) 子育てガイドと一緒に指し確認、出産までの見通しを寄り添って立てる等
- (※2) 夫の育児取得の推奨、両親学級等の紹介、産後サービス利用を一括に検討・提案等

身近で相談に応じ、必要な支援メニューにつなぐ

- (※3) 子育てサークルや父親交流会など、悩みを共有できる仲間作り場の紹介、産後ケアサービス、育児給付や保育園入園手続きの紹介等

- ・ ニーズに応じた支援(両親学級、地域子育て支援拠点、産前・産後ケア、一時預かり等)
- ・ 妊娠届出時(5万円相当)・出生届出時(5万円相当)の経済的支援

＜経済的支援の対象者＞令和4年4月以降の出産 ⇒ 10万円相当

＜経済的支援の実施方法＞ 出産育児関連用品の購入・レンタル費用助成、サービス等の利用負担軽減等 ※電子クーポンの活用や都道府県による広域連携など効果的な実施方法を検討。

3. 実施主体

市区町村(民間等への委託も可)

4. 補助率

国2/3、都道府県1/6、市区町村1/6 ※システム構築等導入経費は国10/10

子どものあずかり こ～んなかんじ

by 蓮すけ



当時のコメント↓

☆サポート時いつも泣いているゆみちゃん的笑顔をスタッフYは夢に出るほど待ち望んでいたのですが、その後、ゆみちゃんはしっかり成長して現実となる日も近そうです！それもゆみちゃんの気持ちを受けとめ、試行錯誤しながら向き合った提供会員さんがあってのこと。この感動を共に出来るスタッフは幸せ者です☆

(その後、ゆみちゃん泣かなくなりましたよ！！)

当時2歳だったゆみちゃんはもう小学生になっています。提供会員のYさんは現在、夫と会社経営に取り組みながら月数回ファミサポを支えてくださっています。ゆみちゃんとYさんのドラマは、今「泣き」の続く子どもさんのご家族にエピソードとしてお伝えしています。「時期が来たら子どもさんなりに納得しますよ」という言葉を添えて…。

子育て応援プレイス
品そのまま

- ✦ 場所 大村市武部町の民家
- ✦ 日時 平日の午前10時から午後5時迄の所
- ✦ 対象年齢 0～2歳
- ✦ 料金 1時間 1000円
- ✦ 予約TEL 090-9498-3608
(NPO法人 ちいさなママ)

子育てのママたちへ
子育てのつらさ・悩みに共感のママ受け付け、子育ての悩みを預けてリフレッシュする時間を作ります

↑大村市の取り組みのチラシです。大村にも楽しいドラマが始まりそうです！

子育て応援プレイス「そのまま」が誕生 in 大村市

大村市で9月から始めた「子どもの預かりモニター事業」の情報はじんわりと街に広がり、長崎新聞の掲載により、情報拡大に加速度がつけました。おかげさまで、現在大村市の子育て支援担当の行政との論議も開始されています。モニター利用で表出してきた子育て家庭の諸課題は個人で解決できるものではありません。大村も佐世保も状況は一緒です。

この事業を今後どうしていくのか…。現在運営費を賄うために助成金申請を行い、寄付も募っています。継続のために、チラシ（イラストページ参照）のように利用料は当事者の方にご負担いただきます。この方法が、今、大村市の方々に対して出来る精いっぱい形です。もし「応援してもいいよ!」という方、ぜひ寄付でご協力ください。何とか継続して、大村の利用希望者の切実な声を行政の皆さんに受けとめていただけたらと思います。

2022/11/16長崎新聞掲載



新規事業「母子に特化した訪看事業」を準備中です。

子育て家庭に伴走しようと考えたときに、私たちが出来ることは「家事サポート」だと判断し、紆余曲折を経て自主事業として支援を開始、コロナ禍で、アウトリーチの支援に需要があり、開始して4年目、大きな事故なく事業継続しています。少しずつ支援者の輪も広がりつつあるところですが、引き続き支援の質と量の充実を今後も目指していきます。


伴走型支援は「課題解決を目指す支援」と「つながり続ける支援」が相互に、時には車の両輪のように力を発揮しながら支えるイメージです。「課題解決」は家事サポートなどのアウトリーチで個別の支援を行います。「つながり続ける支援」は地域での支援、今後の事業展開の場所と人材の確保を想定して、今年は天神の「モンブレア」で「ぼちぼちいこか食堂」を開始、地域のボランティアさんとの協働を実現しています。

現場での支援を経て、もうひとつ「課題解決のためのツール」として医療的なアプローチの必要性があると考え始めています。「母子に特化した訪問看護」という言葉を知り、法人で事業化できないかと模索を開始。今は、スタート地点のずっと手前ですが、今後、検討を重ね、手続きや準備を地道にこつこつ形にしていこうと考えています。

新規事業への着手に伴い、法人運営の効率化、事務作業のスキルアップにも努め、事業は2023年度上半期での開始を目指します。

夢は、天神のモンブレアを拠点に、アウトリーチのスタッフが動き、モンブレアにも利用者やボランティアさんが様々な形で「滞在」出来る…そんなイメージを膨らませています。

関心ある方、お問い合わせください。

 ぼちぼちいこか

ときどき「食堂」

やっています。

場所 佐世保市天神5丁目40-30

みんなの美家 モントブレアにて

第4木曜日 11:00ごろ 参加費：無料

地域の皆さんでお待ちしています。



ボランティアも絶賛募集中!!

NPO法人 ちいさのなみま

●これからのイベントや講座の予定●

イベント名	日時	会場	内容
ぼちぼちヨガ教室	12月5日・19日 13:30から	ボランティア センター別館	会員 ¥500 会員外 ¥800
ファミサポ提供会員 交流会	12月9・16日 10:00～	ボランティア センター別館	情報交換
子育て支援スタッフ 向けリスク研修	12月14日(水) 10:00～12:00	ボランティアセン ター別館	講師 鈴木裕子弁護士
おもちゃ整理の日	12月20日(火) 9:00頃から	ファミサポ事務所	おもちゃの消毒・整理 協力歓迎!
ぼちぼちいこか食堂	12月22日(木) 10:00ごろから	みんなの実家モン ブレア	参加費無料 要事前申し込み

編集後記



赤い羽根 使いみちを巡る募金

出産前後のご家族を応援します
 ～孤立する子育て家族の産後の暮らしの応援にご寄付をお願いします～
 コロフルでは産前産後に実家に頼りない方が多くいます。
 産後に十分な休養をとりたいが実家暮らしが難しい、ひいては産後うつになるお母様
 が多くいらっしゃいます。
 私たちは家事サポートや産後ケア講座で産後のご家族を支援しています。

募金のお願い
 この募金は子育て家族の生活費で使われています。
 お募りいただいた募金は、本人名義の銀行口座に振り込まれます。
 サポートが困難な場合は、多くのご家族で子育てをなさっていますようにご家族を
 応援したいと願っています。

NPO法人 ちいきのなかま
 赤い羽根
 〒527-0222 高橋南住居付市山手町2-10
 TEL 090-9498-3608
 E-mail: chiikinonakama@basil.ocn.ne.jp
 URL: http://chiikinonakama.boo.jp/

今年も赤い羽根共同募金 テーマ募金協力お願いの季節となりました。産前産後ケア家事サポート事業の予算化が見通せない中、来年度の継続は全面的に寄付、または助成金でと考えております。とにかく必要な支援であり、行政に働きかけながら、また自団体でも、新規事業に取り組むなど努力をしながら支援を続けてまいります。物価高騰の折柄、大変恐縮ではありますが、ご協力をよろしくお願いいたします。12月中に関係各位には送付させていただきます。



NPO法人ちいきのなかま

入会・会員(正・賛助)
正会員:総会議決権あり 入会金 ¥1,000 年会費 ¥6,000
賛助会員:総会議決権なし 年会費 ¥3,000
主な特典:各種事業会員特別料金にてご優待
連絡先 NPO法人ちいきのなかま



携帯 090-9498-3608
 E-mail:chiikinonakama@basil.ocn.ne.jp
 HP:http://chiikinonakama.boo.jp/